

課題あるがコロナ優先で

横浜市会議員 こんの典人

2月19日の本会議で、会派を代表し、質問に立ちました。一部要旨を掲載します。

最優先はコロナ対策

令和3年度の優先課題は、何といっても新型コロナウイルス感染症対策です。ワクチン接種の環境づくりと、市民や事業

赤字地方債の発行

令和3年度の予算編成は、コロナにより前年比488億円の税収減、970億円の大幅な収支不足となることから、さらなる赤字地方債を発行し

者への支援、感染者や医療従事者への心ない差別対策などを求めました。

長期で大幅な収支差

横浜市は昨年夏に長期財政推計を公表しました。2065年には社会保障費の増加と生産年齢人口の減少による市税収入の減少で、2170億円の収支不足が生じると

財政健全化目標を変更することにしていきます。私はコロナ禍、市民生活や市内経済に支障を来さないためのや

れまで何度も問題を指摘してきた「ふるさと納税」の対策は進んでいません。

しわ寄せが地方税に

ますが、更なる事業の

例えば年収700万円の人が3万円ふるさと納

税した場合、所得税（国税）の控除額は5600円なのに対し、住民税（地方税）の控除額は2万2400円です。令和3年度これによる市の減収見込みは157億円で、国からの交付税措置分を除いても2065年まで積み重ねると、1600億円を超える大幅な減収額になり見過ごすことはできません。早急に見直しが必要です。

立憲・無所属フォーラム
こんの典人事務所

緑区鴨居3-1-14-105

☎045-929-3030

FAX 045-342-4330

✉ konno@konno-norito.com

http://konno-norito.com/

市民相談を受け付けています。お気軽にご連絡下さい。